

市販品で上手くいった事例

Summilux 50mm第二世代の場合は、購入直後に問題解決。このレンズはΦ43mmの溝が切ってある。幸いレンズと合わせる側がΦ43mmとなっているLeica純正ではない市販のフードを使うことで問題が解決した。そのフードの先端にΦ52mmのフィルターが付けられる溝が切ってあるからだ。52mmだとケラレるのではないかと考えたが幸いにして待ったく問題なし。

フードの先端に偶々
Φ52mmのフィルター
が装着出来た。



Summilux 50mm f1.4 (2nd ver.)
市販のフィルター径43mmのフード装着



Summilux 50mm f1.4 (2nd ver.)
フードの先端にΦ52mmのPLフィルター装着

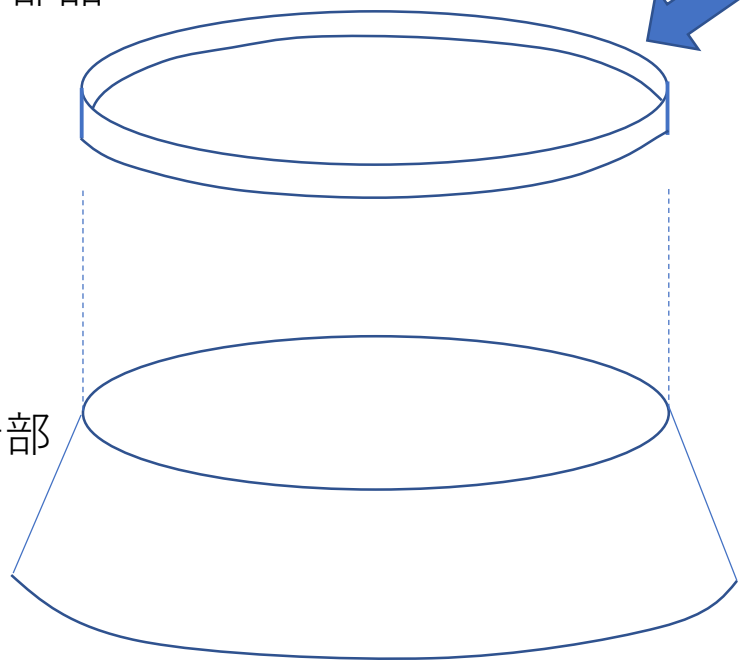
Summilux 35mm f1.4 第二世代の事例



レンズフード先端の内径が59～60mm前後。この内径に一番近い58mmの市販レンズフィルターを付けたいが若干ブカブカでサイズが合わない。
市販レンズフィルターとして58mmよりも一つ大きいサイズは62mmだがこの径のレンズフィルターだと大きすぎて全然フード先端部と噛み合わない。

リング部品

レンズフード先端部



レンズフード先端部に対して
内側に $\phi 62\text{mm}$ のフィルター径に合わせて
ネジを切ったリング部品を製作してフードの
先端部に溶着等接合する。

市販の62mmレンズフィルターに合わせて調整

